

防災催し 明石川の水でカレー作り

サバイバル料理 親子で体験

明石公園の東芝生広場では16日、「時のウィーク2019」メインデーに合わせ、体験型の防災イベント「親子で楽しくまなB OーS A I」があった。「科学実験×サバイバル」をテーマに、防災知識や非常時の行動を学ぶブースが並び、親子連れらでにぎわった。

明石青年会議所などが、市民ぐるみで明石を安全な街にできるようにと昨年から開催している。

水消火器や起震車、自動体外式除細動器（A E D）の体験のほか、てこの原理や滑車の原理を用いて、小さな力で重い物を動かすレスキュー体験のコーナーもあった。

目玉となったのは、明石川からくんできた水を浄化してカレーを作る「サバイバルクッキング」。参加した子どもらは、魚が泳いでいる水槽の水を、手動の災害用浄水器を使ってろ過。同会議所のメンバーらが間伐材を使って火をおこし、調理した。

カレーが出来上がると子どもらは大喜びで試食。王子小5年の真崎匠君（10）は「普通のカレーと同じ味。おいしい」とおかわりしていた。

（勝浦美香）



明石川の水でカレーを作り、
試食するコーナー＝明石公園
東芝生広場